

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ウィッシュ児童デイサービス美座		
○保護者評価実施期間	7年 11月 20日		7年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	7年 12月 1日		7年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	81年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日の活動、イベントや遊びを通じて、成功体験を積み重ね自信をつけていける場所となっている	活動の中で褒めることを意識している。 苦手な活動でも楽しく活動できるように声かけなどしている。 気付いたことなど、その都度、保護者に報告している。	気付いたときに保護者だけではなく、職員同士でも情報共有し意見など情報交換する。
2	保護者や利用者様の悩みや問題を聞き、一緒に考える。	送迎時や電話などで変わった様子など報告し次の利用時の対処を一緒に考える。	悩みや不安を受けとめ一緒に考えていく。
3	同じ会社の事業所との情報交換、各施設の取り組みなどの情報共有している。	ミーティングや会議などで情報共有している。 他の施設での成功体験など、取り入れている。	ミーティングや会議を通して、職員のスキルアップを目指す

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校によって連携の差がある。	学校での様子を知る利用者様と知らない利用者様の差がある。	学校とつながりを持てるようにしていく。 オープンスクールなどにも参加する。
2	情報伝達の周知が十分でないときがある。	連絡帳が電子化になり、確認不足があった。	毎朝、連絡帳やLINEの確認、職員への情報共有をする。
3	保護者様への様子などの報告が十分ではない。	連絡帳に写真を付けて様子など送っている。 連絡帳、送迎時に報告で不十分なときがある。	保護者様に一人ひとりに伝わりやすい方法を考え情報発信していく。 保護者様を呼んでのイベントも考えて行く。